人道

九州から本州を、あるいはその逆を歩いたと主張する人は、おそらく眉をひそめられるだろう。なにしろ 2 つの島は、最も狭いところで 0.5 キロメートルという大きな水路である関門海峡によって隔てられているのだから。それでも、歩行者は波のはるか下にある歩道で、定期的に 2 つの島の間を行き来している。

関門トンネルは 1958 年 3 月 9 日、車両と歩行者の通行のために開放された。当初、トンネルの上部は 1 車線の車道で、下部は歩行者と自転車専用だった。全長 780 メートルのトンネルには、下関側に深さ 55 メートルのエレベーターシャフト、門司側に深さ 60 メートルのシャフトがある。徒歩の場合は無料で利用できるが、自転車や原付を押して島から島へ移動する場合は 20 円の料金がかかる。

徒歩の場合、海峡を潜るのに 15 分ほどかかる。山口県と福岡県の海底の県境は、トンネルの一番深いところに太い線で表示されている。多くの初めての歩行者は、頭上を行き交う交通音を聞きながら、2 つの県をまたぐ貴重な機会を利用する（そして写真を撮る）。このトンネルはまた、雨や風を完全にしのげる冷房完備のコースとして、ウォーキングやジョギングをする人たちにも人気がある。